

【特色ある取組】

2020年10月に開館した東京大学アジア研究図書館は、東京大学に蓄積されてきたアジア関係の研究資料を集約・再構築し、国内外のアジア研究者が集う世界最高水準のアジアに関する研究環境の実現を目指している。また、学内外のアジア研究組織・研究者との連携による協働型アジア研究や国際的な成果発信・研究交流を行うなど、図書館自体が研究機能を有することを特色としている。

アジア研究図書館では、高い専門性に対価を支払って学内業務にいかしてもらおうオンキャンパスジョブの制度を積極的に活用している。アジアの各地域・言語に精通し研究資料の取扱いに習熟した大学院博士課程の学生を雇用することで、研究目的の利用者からの質問や要請に迅速・的確に対応できるという利点をいかして参考調査、文献案内などの利用支援業務の一端を任せることができ、新たな研究図書館という形を構築するための一助となっている。

【本取組における波及効果】

大学院博士課程の学生に対する経済支援のための選択肢を提供できると同時に、専門性の高い人材を雇用することで図書館サービスの高度化にも資することができる。

【参考URL】

東京大学アジア研究図書館HP

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/asia>

